

『おやすみ短歌: 三人がえらんで書いた安眠へさそってくれる百人一首』

杵野浩一、pha、佐藤文香 (著)

実生社, 2023

ISBN: 9784910686110

購入手続き中

私のすすめるこの1冊

小林 賢太 (国文学科 講師)

『おやすみ短歌 三人がえらんで書いた安眠へさそってくれる百人一首』

杵野浩一、pha、佐藤文香 (著)

好きな映画なら2時間半でも集中できるのに、授業だと10分で寝てしまう…ましてやよく分からない話ならなおさら…という経験は誰しもあるだろう。そんな人間の習性を逆にとり、ぱっと見よく分からないような短歌を読むことで、すやすや眠りについてもらおうというのがこの本。掲載歌は安眠をテーマとした100首。見開きで右ページに短歌1首、左ページに解説文がある。解説は、歌人の杵野浩一、作家の pha、俳人の佐藤文香。この解説文もまた、ふんわりしていて心地よい。

短歌は詩だから、時に言葉や発想に飛躍があり、分かるような分からないような歌も少なくない。論理・効率・実益に埋め尽くされた現実からひととき離れ、分かるような分からないような、ふんわりした思考のまま眠りにつくのも悪くない。

どんな短歌が載っているのか、少しだけ紹介したい。まずは眠き全開の一首。

・ねむいねむい廊下がねむい風がねむい ねむいねむいと肺がつぶやく (永田和宏)

自分の中の眠気がダダ漏れに漏れて世界に充満している。しかも肺が眠いと呟く。もう自らの意志ではコントロール不能。そんな時は諦めて寝てしまおう。次は美味しそうな二首。

・世界じゅうのラーメンスープを泳ぎきりすりきれた龍おやすみなさい (雪舟えま)

・宵闇の九月にめざめヒガシマルうどんスープが味方であること (上坂あゆ美)

一首目、使い古されたラーメンどんぶりだろうか。赤色で、四角いグルグルと龍が描かれたやつ。でも世界中のラーメン

スープを泳いできた龍とは？ ラーメンの妖精？ 二首目、どんなに心細い時でも、温かくて美味しいスープがあればそれだけで元気になれる。そんな気がしてくる。続いては哲学的な二首。

・草や木や山は眠るというけれど海は眠りにつくのだろうか (土岐友浩)

・灯(ひ)は街にすずかに満ちてこの夜もきつと誰かの時効の前夜 (toron*)

一首目、「草木も眠る丑三つ時」「山眠る」という言葉はあるけれど、「海眠る」はあまり聞かない。海は眠らないのだろうか。それとも最初から眠っているのだろうか。二首目、地球上では毎日犯罪が起きていて、毎日誰かの時効が来る。今夜も世界のどこかの誰かの時効前夜なのだ。そしてそれは決して遠い世界のことは限らない。最後に可愛らしい歌を二首。

・うちの子はパン生地なのか8月に毛布を二枚かけて寝ている (柴田有理)

・寝た者から順に明日を配るから各自わくわくしておくように (佐伯紺)

一首目、何歳くらいの子だろう。冷房の効いた室内なのだろうか。パン生地みたいにふっくらもちりすやすや眠る子ども(赤ちゃん?)が目につく。二首目、寝る前にワクワクしなくなったのはいつからだろう。大人だって、明日を思ってワクワクしながら寝たっていいはずなのに。この歌によると、早く寝た人から楽しい明日が配られるらしい。ということで、今夜は早く寝ることにしよう。



第38回
「うたとおはなしの会」報告



令和6年10月5日に、附属図書館2階研修セミナー室にて「うたとおはなしの会」が開催された。当日は、晴天にも恵まれ、朝から大勢の来場者で会場はいっぱいになった。まず最初に図書館長から挨拶があり、学生たちが「どんぐりころころ」をうたいながら登場すると、来場者から大きな拍手がおこり、親子で楽しそうに口ずさむ姿が見られ、和やかな雰囲気に包まれた。

最初の演目、パネルシアター「ねこのおいしゃさん」では、患者さんの病気を治そうと、お医者さんが「にゃーっ!」と気合を入れるたびに、子どもたちからも「にゃーっ!」という元気な声が響き、学生の熱演に引き込まれている様子が見られた。続いて♪どれみふあそったくん♪(音楽領域専攻学生)による音楽鑑賞では、初めて見る本物の楽器に子どもたちは興味津々の様子で、知っている曲が始まると一緒に歌ったり身体をゆらしたりして楽しんでいた。2歳女児と参加した保護者からは「1曲だけ演奏に参加させてもらえたのが、特にうれしかったようです」と感想を述べていた。

そして最後の演目、人形劇「どうぞのいす」では、きつね、くま、リスなどが登場するたびに、知っている動物を見つけ「くまさん」などと指さして保護者と目を合わせ、親子と一緒に物語を楽しむ姿が多く見られた。



終了後のアンケートでは「学生さんたちの歌や劇がとても素敵で、45分があっという間でした」(1歳男児の保護者)、「10年前1人目のときから、時々参加させてもらいました。3人目も連れてこられてよかったです」

(2歳児女児の保護者)など、多くの好評をいただいた。参加者たちは、学生が手作りする「くるくるレインボー」をお土産にもらい、物語に登場した人形たちと記念写真を撮ったり握手をしたりして、会場を後にした。図書館の前ではどんぐりを拾って帰る親子の姿が大勢見られ、「どうぞのいす」の物語の余韻を楽しんでいるようだった。

次は春の開催に向けて準備を始めている。今後も内容の質向上をめざし、さらなる努力を続けていきたい。

幼児教育科 平井恭子



児童書コーナー(南館1階)



今月の絵本カード(学生作)
『ふたつのいちご』
作:林明子
出版社:福音館書店



※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

保育士試験対策コーナー

保育士試験に関連する絵本・紙芝居を集め展示しました。

【期間】11月13日(水)~12月8日(日)

【場所】南館1階 児童書コーナー

冬季休業に伴う長期貸出について

学部生:12月10日(火)~12月26日(木)

院生・教職員:11月26日(火)~12月16日(月)

【返却期限日】2025年1月14日(火)

チャレンジ体験(報告)

10月29日(火)から11月1日(金)にかけて、藤森中学校からチャレンジ体験の生徒を2名受け入れました。みなさま、ご協力いただきありがとうございました。

イベント案内

第6回教育展「楽器の世界 子どもと音楽をつなぐ楽器展」

「楽器の世界 子どもと音楽をつなぐ楽器展」と題して、本学が収集しているさまざまな玩具的楽器や教育用楽器について、教育という営みのなかで与えられたさまざまな機能をご紹介します。大人も子どももぜひお楽しみください。

【会期】11月1日(金)～12月23日(月)

【時間】図書館の開館日時に準じる

【会場】附属図書館北館1階企画展示室



<関連イベント>

講演会「世界は楽器に満ちている！ ：楽器の起源・機能・分類とは」

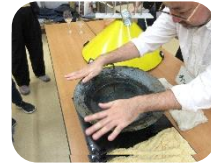
【日時】12月1日(日) 13時～14時

【会場】附属図書館北館2階 研修・セミナー室1

科学と音楽のワークショップ

「こすって鳴らす楽器のふしぎ」を開催しました

11月3日(日)に大阪市立科学館の上羽貴大さんをお迎えして、ワークショップを開催しました。6組14名の参加者が、さまざまな「こすって鳴らす楽器」を体験したり、小さな木の板に切れ込みを入れ、手でこすって鳴らす「アルブラッソン」という楽器を制作したりして楽しみました。



◆ 学修相談カウンター

学修相談カウンターの学修支援員による



「Officeソフトお悩み相談会」を開催しました！

11月18日(月)に学修支援員3名が集まり、Officeソフトお悩み相談会を開催しました。

ただ、残念ながら当日の参加者は0名…。そのため、支援員同士での悩み相談や情報共有などを行いました！

校閲機能って
どんな風に
使うの？

PowerPointで模擬
授業のスライドを
作るのが毎回大変！

パワポの
デザイナー機能
めちゃくちゃ
活用する！

誰かこういうこと
話すのなんか新鮮！
いつもはだいたい
ネットで調べます

見る人のことを考え
て、アニメーション
はシンプルなのが
いいよね

相談会に限らず、レポートや卒論、教育実習、就活などさまざまな相談を受け付けていますので、ぜひ気軽に相談カウンターへお越しください！

日時：授業期の月火木の昼休み

場所：北館2階ラーニング・commons

Webフォームもあります。→



京都教育大学 それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。

第44回のおしらせ

10月中旬YouTube公開予定

【講師】大久保紀一郎

(教職キャリア高度化センター 講師)

【テーマ】好きなことで学び続ける

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

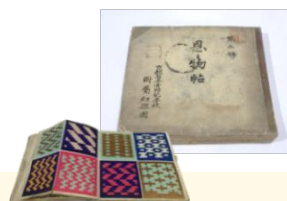
※今までの回も
視聴できますので、
ぜひご覧ください



教育資料館 まなびの森ミュージアム

【12月の開館日時】

2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月) 14:00～17:00



今月の逸品(10～12月)

『恩物帖』

京都府尋常師範学校 附属幼稚園

展示場所：附属図書館

教育資料館 まなびの森ミュージアム

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 湯川 夏子 (家政科 教授)

高齢者地域サロンにおける料理活動の導入と効果 —介護予防の視点から—

湯川 夏子・飯塚 真由・岡田 利子・昆布 睦育巳・明神 千穂

京都教育大学紀要 2024, No.145, pp. 101-112
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9878>



皆さんは料理を作ることは好きですか？日常の食事作りは、面倒だと感じる人も多いかもしれません。友達と一緒に料理を作る場面ではどうでしょうか。とても楽しいことはありませんか？高齢者にとっては「料理をすること」(料理活動)は、長年慣れ親しんできた日常生活の一部です。料理をすることは人を生き生きとさせ、情緒の安定や、自信ややる気をよびさまし、認知症ケアや予防に役立ちます。このような料理活動を支援する方策を、認知症の非薬物療法の一つとして「料理療法」と名付けて実践研究を行っています。

本研究では、居場所づくりを目的とした地域サロンにおいて、認知症の人ではなく介護予防の視点から高齢者と共に料理活動を一緒におこない、その効果について、自己評価(主観的 QOL)や感想、観察結果から明らかにしました。おはぎや、カレーライス、餃子など、5 回にわたって料理活動を実施しましたが、どの回もとても盛り上がり、皆で協力してあっという間に料理ができあがりました。参加者は一人暮らしの人が多く、共に料理や食事をする楽しさに加えて、人間関係や、協調性が新たに構築されるなどの効果が明らかになりました。料理活動を介した居場所づくりは高齢者の QOL を高め、介護予防に寄与すると期待されます。

料理することは、高齢者だけでなく子どもにとっても皆さんにとっても、コミュニケーションの向上や自己肯定感を育むなど、様々な効用があります。どうぞ、料理を作ることを子どもたちや、家族、友達と一緒に楽しんでいただければと思います。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 145 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/> に掲載されています。

開館日程

□9:00-20:00 ■9:00-17:00 ■10:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2024年12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

12/7 学校推薦選抜入試
12/24-1/6 冬季休業

2025年1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1/7 授業再開
1/18-1/19 共通テスト

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>

(QRコード→)



京教図書館 News No.291 (2024年12月号)
発行日:2024年12月2日
編集発行:京都教育大学附属図書館
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION